

一般質問発言通告一覧表

6月定例会

令和6年(2024年)6月28日(金)

受付順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	答弁指定者
1		増田 秀雄	1. 理事会について ① 組合運営に果たす理事会の役割について 2. プラスチックごみについて ① 令和4年4月にプラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律が施行されたが、これまでの全国的な取り組み状況と組合管内における検討状況は。 ② プラスチックごみの分別収集及び再商品化の取り組みは組合構成市町が主体となって実施する必要があると認識しているが、組合はどのように関わることを想定しているか。 ③ プラスチックごみの分別収集及び再商品化の実施に向けた課題は。	管 理 者
2		平野 千穂	1. 第一工場ごみ処理施設プラント更新工事について ① 令和6年3月29日の環境省通知「循環型社会形成推進交付金等に係る施設の整備規模について」により、第一工場ごみ処理施設プラント更新工事にどのような影響・変更があるのか。 ② 令和6年2月2日に実施された第416回理事会資料では、プラスチックごみ分別を実施した場合、令和15年度の年間想定ごみ搬入量は247,105t、うち第二工場処理量を83,000t、災害ごみ搬入想定を20%、プラスチックごみ分別による削減効果を3%と想定しての施設規模を720t／日と算定していた。 ア 令和6年3月29日の環境省通知によ	管 理 者

2		平野 千穂	り災害廃棄物搬入量をこれまでの２０％から１０％へ変更している。プラスチックごみ分別による削減３％を加味しなくても、施設規模は６５１ｔ／日となるのではないかと問う。 イ 令和３年３月に策定された第一工場ごみ処理施設整備方針では、災害廃棄物搬入量を１０％とした中位シナリオでは、第一工場の施設規模を７１５ｔ／日とし、３炉構成での概算費用を約５４２億円と見積もっていた。一方、財政計画２０２４では総事業費を約７１５億円としている。 ・１７３億円もの金額差になっていることの説明 ・約７１５億円についての項目別の金額を問う ２．堆肥化施設について 栃木県益子町では、特殊な微生物を使った技術で生ごみを有機肥料にして、高品質のイチゴを育てる農家が活用していると報道されていた。 堆肥化施設の移転後に検討されていた食品残渣処理について、現在の枝草堆肥化施設の一部を活用して実施できないか問う。	管 理 者
---	--	-------	--	-------